

中原台の風

平成30年度第5号（通算285号）
—佐西学校だより—
平成30年8月30日発行
〔発行責任者〕
長崎県立佐世保高等学校長 宅島 健司

憤せずんば啓せず

校長 宅島 健司

校長室に、祥福寺僧堂師家であった河野太通禅師による「啐啄同時」の揮毫が掲げられています。「啐啄同時」とは、師と弟子との関係を一言で表した禅語で、「啐（そつ）」とは、卵の中の雛が「もうすぐ生まれる」と内側から殻をつつく音。「啄（たく）」とは、そんな卵の変化に気づいた親鳥が、「でてきなさい」と外側から殻をつつく音を表します。殻を破る者と、それを導く者の「啐」と「啄」が同時に行われるというのが師弟の理想であるということの意味をしています。すなわち、早くもなく、遅くもなく、「その時」を逃さず、正しく導く方法です。親鳥である師が雛である弟子を導くのに、どこでどのようなきっかけを与えるか、そのタイミングを間違わない、絶妙の機を逃さないという意味でしょう。この言葉は、特に師である教員の在り方について示唆した言葉であると思います。そのことについては、私も含めて教員は学び続けなければならないと考えています。

一方、君たちはどうでしょうか。論語の述而篇に「子曰はく、憤せずんば啓せず、悱せずんば発せず」とあります。訳は、「自分で考えて問題を解決しようとする者でなければ、その人を教え導くことはしない。自分の考えをどう表現しようかと悩んでいる者でなければ、その人を教え導くことはしない。」とあります。3年学習合宿中に、「今の君たちの授業に対する集中力と11月過ぎの君たちの授業に対する集中力は違う。できる限り早くその集中力を発揮して授業に臨んでほしい。その集中力で家庭学習に臨んでほしい」と話しました。受験前の11月以降は、全国どの学校の3年生も集中して授業に臨みます。その集中力が今ほしいのです。また、私もそうでしたが、部活動において、試合のあるいは大会の1週間前から急激に集中力を発揮し、一生懸命練習に臨む人がいます。集中しないよりはいいですが、それでいいのでしょうか。普段の取組の3年間の集大成として受験があり、高総体がありコンクールがあります。

君たちがただ授業を受けている、ただ部活動をやっているというのでは、君たちの到達したい目標を達成できるとは思えません。自分で問題を解決しようとして考えて、それに臨むようであれば、教えられてもその効果は限られています。君たち自身が、精一杯伸びようと考え、心に決め、懸命に何とかしようとして努力するとき、我々教師の力が本当の意味で発揮されるのではないかと思います。

3 学年

受験を楽しもう！

「夏を制する…」なんて無理！と思わせるほど異常な暑さが続いた今年の夏ですが、53回生の皆さんは、黙々と受験勉強に打ち込んだ日々ではなかったかと思います。7月21日（土）からの夏季講座、7月29日（日）～8月4日（土）まで6泊7日で行われた平戸学習合宿などを通して、受験生としての自覚もすっかり身に付いたことでしょう。特に、学習合宿では一日11時間の学習に取り組み、達成感を味わった人も多かったと思います。

しかし、大事なのはこれからです。「継続は力なり」「続ければ本物になる」と言われるように、受験生に必要なのは一過性のがんばりではなく、継続的ながんばりです。センター試験まで約5ヶ月。やるべき事の多さを考えると短い期間ですが、辛く苦しい受験勉強を続けていくにはとても長く感じます。せっかく受験モードに入った人も、次第にペースダウンし、中には諦めてしまう人も出てきます。

そうならないためには、受験勉強を楽しむことです。西高生は、勉強が苦手な人でも、知的好奇心が心の片隅に残っています。この夏の学習を通して、苦手だったことが「分かる」、「できる」ようになったとき、ちょっとだけ勉強が楽しくなりませんでしたか？その小さな成功体験を積み重ねていけば、勉強の楽しさに目覚めるかもしれません。夏の学習の成果は秋以降に出てきます。そのときを楽しみに、今は小さな成功体験を一つずつ積み重ねていきましょう。
【第3学年主任 中村孝之】

2 学年

“受験に直結する夏”をどう過ごしましたか？

54回生は今、高校生活の折り返し地点を通過し、高校生活後半戦へ突入しました。

もう、目標を定めそれに向かってスタートしていなければなりません。来年度、受験を突破し夢を実現させるためには、できるだけ早期にスタートをきる事が重要だと考えます。そういう意味でも「今、この瞬間」は54回生にとって大変重要なポイント、チャンスであると言えます。授業再開日を迎え、皆さんに取り組んでもらいたい項目について改めて述べてみます。

- ① 7月までの学力、学習への取り組みを分析し後半戦スタートをどうきるか具体的に考え、それを実行する。
- ② 11月進研実力の重要性を再確認し、それまでのプランを再検討する。
- ③ 学校行事には全員全力で取り組む。些細なことだと思って力を抜く人は、自分の一生を左右するような重要な時にも全力を発揮できない。

高校生活も残すところあと半分になりました。自ら学ぶ54回生の頑張りに期待します。

【第2学年主任 江口友広】

1 学年

充実の西高生活が本番を迎えます

短い夏休みも終わり、授業が再スタートしました。まずは夏休みのやり残しがないように、提出物等をきちんと出しておきましょう。夏休み中の過ごし方をしっかり振り返り、間もなく始まる二者面談に備えておいてください。その後は、西高生活の一番の楽しみとも言える、学校行事が目白押しです。まだ皆さんは一年生で、全ての行事が初体験ということもあると思いますが、各クラスで知恵を出し合って、先輩よりも充実した行事になるように努力してください。これから新時代を築く高校一年生に必要とされる姿勢は、「楽しいことに全力でぶつかっていく態度」「困難にも仲間と協力して立ち向かう意識」であるとされています。勉強、行事、部活、と忙しい毎日に目が回りそうになるかもしれませんが、忙しささえ楽しく乗り切るタフな精神を、55回生には持ってもらいたいです。皆さんがそれぞれの行事を全力で楽しんでくれることを願っています。
【第1学年主任 佐藤孝士】

野球部全校応援

第100回全国高等学校野球選手権長崎県大会、本校野球部1回戦となる試合が7月9日(月)に佐世保市営球場で行われました。試合会場が佐世保市で開催という事で、全校生徒で野球部の応援にきました。当日は、気温も高く暑い日でしたが、夏の暑さに負けない熱い思いで試合に挑む野球部の生徒、熱のこもった応援をする佐世保西高生の姿が見られました。

結果は、4-3で島原農業に勝利しました。また、この全校応援を通して佐世保西高校が一つになれたと感じました。これからも、体育大会、西高祭など、学校行事が行われますが、今回のように、佐世保西高が一丸となって取り組み、仲間たちとの絆を深め、青春の1ページをみんなで作ることができたら良いと思います。野球部の皆さんお疲れ様でした。そして、これからも西高パワー全開です!



《8・9月の行事予定》

8/25	(土)	土曜講座(全学年)
26	(日)	佐世保地区ハンドボール1年生大会(本校)会場
28	(火)	「ふるさと創生大作戦」ブロック代表プレゼンテーション
30	(水)	体育大会予行
31	(金)	体育大会代休
9/1	(土)	体育大会準備(授業日)
2	(日)	体育大会
3	(月)	体育大会代休
7	(金)	西高祭代休
8	(土)	西高祭1日目
9	(日)	西高祭2日目
10	(月)	西高祭代休
15	(土)	進研マーク(3年) 進学ゼミナール チーム東大合宿(2年~16日)
16	(日)	進研マーク(3年)
17	(月)	敬老の日
18	(火)	高校説明会(平戸市立大島中学校)
19	(水)	部室棟清掃
20	(木)	前期期末考査時間割発表
23	(日)	秋分の日
24	(月)	振替休日
27	(木)	前期期末考査(~10/2)



第55代生徒会会長・副会長決定!

7月12日(木)、ウイングアリーナで立会演説会を開きました。今年は生徒会長候補3名、副会長候補3名の選挙となりました。どの候補者も学校をよくしたいという熱意にあふれた演説でした。投票の結果、以下のように決定しました。

【会長】 里中 一翔(さとなか かずと)

【副会長】 齋藤 叶美(さいとう かなみ) 古賀 愛望(こが あいみ)

こんにちは。この度生徒会長となりました、里中一翔です。これから1年間、よろしくお願いいたします。私は、従来の型にとらわれない、いい意味で「常軌を逸した」生徒会・佐世保西高を目指しています。そのためにも、たくさんの意見を生徒会にください。何らかの形で解決してみせます。二度と無い高校生活、思う存分楽しみ尽くしましょう。皆さんの記憶の中で、「高校生活はきつかったけど、あの時に戻りたい・・・。」と思える様な1年間にしたいと心から思っています。

【生徒会会長 里中 一翔】

部活動結果報告

<陸上部>

平成30年度第73回九州陸上競技選手県大会

兼第103回日本陸上競技選手権大会予選

男子少年B100m 第2位 浦 歩望

男子少年共通走高跳 第3位 小鳥居 勇太

男子少年共通三段跳 第3位 休坂 竜太郎



<ソフトボール部>

第12回世界男子ジュニア選手権日本代表 日高慶明 準優勝

<コーラス部>

平成30年度長崎県高等学校音楽コンクール

声楽部門 銅賞 1-4 浅木 日奈子



<吹奏楽部>

平成30年度九州吹奏楽コンクール予選長崎県吹奏楽コンクール 銀賞



<書道部>

第68回「社会を明るくする運動」佐世保地区弁論大会

商工会議所賞 渡邊 優月



<その他>

平成30年度第14回ライブラリーフェスティバル

県北地区 図書館広報誌コンクール 最優秀賞(1位)

平成30年度長崎県高等学校音楽コンクール

声楽部門 金賞 北村 渚紗